

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 富士テクニカ宮津

コード番号 6476 URL <http://www.fuji-miyazu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和久田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 伊藤 仁

TEL 055-977-0401

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,717	24.2	725	308.6	745	449.9	△133	—
24年3月期第2四半期	6,212	121.4	177	—	135	—	241	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △102百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 291百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△12.19	—
24年3月期第2四半期	78.42	14.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	19,084	3,621	19.0	134.02
24年3月期	20,514	3,778	18.2	143.40

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,621百万円 24年3月期 3,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	2.6	900	665.8	1,000	319.6	100	—	9.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,946,007 株	24年3月期	10,946,007 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,636 株	24年3月期	1,606 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,944,386 株	24年3月期2Q	3,080,993 株

(注)期中平均株式数の算定において、B種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

発行済株式数(A種優先株式)

期末発行済株式数: 25年3月期第2四半期 299,255株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国において景気の減速感がみられ、また欧州での金融・債務問題の拡大、米国での雇用環境の改善の遅れなど、先行きは不透明な状況にあります。一方、わが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかながら景気回復の兆しが見られますが、不安定な海外経済情勢、円高・株安の継続や電力不足懸念など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、管理体制をより一層強化することにより個別案件の採算性向上に努めたほか、全社挙げての更なる固定費の削減、製造工程見直し等による原価低減を進めるとともに、生産性および品質の更なる向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,717百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益は725百万円（前年同期比308.5%増）となりました。また、営業外損益において、海外関連会社における持分法による投資利益85百万円等を計上した結果、経常利益は745百万円（前年同期比449.9%増）となりましたが、特別損益において、当社連結子会社の株式会社富士アセンブリシステムの当社所有全株式の譲渡および同社に対する債権の一部放棄にかかる事業分離における移転損失935百万円等を計上した結果、四半期純損失は133百万円（前年同期四半期純利益241百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車用プレス金型事業

当事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、海外案件の出荷増加により、売上高は7,351百万円（前年同期比62.7%増）の増収となりました。また、固定費削減や原価低減等により、セグメント利益は731百万円（前年同期比536.3%増）となりました。

② 自動車用溶接治具事業

当事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、当社連結子会社であり自動車用溶接治具事業を営んでいた株式会社富士アセンブリシステムの当社所有の全株式を譲渡しており、当第2四半期連結累計期間（第1四半期連結会計期間のみ連結）の売上高は365百万円、セグメント損失は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比して1,429百万円減少の19,084百万円となりました。これは主として、仕掛品が1,068百万円減少したことによるものであります。負債については、前連結会計年度末に比して1,272百万円減少の15,463百万円となりました。これは主として、前受金が1,187百万円減少したことによるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比して157百万円減少の3,621百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比して0.8ポイント増加の19.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、4,369百万円（前年同期は4,555百万円）となりました。

営業活動の結果、資金は732百万円の増加（前年同期は423百万円の増加）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失が119百万円となる中、前受金の減少額が1,138百万円あった一方で、たな卸資産の減少額が901百万円及び事業分離における移転損失が935百万円あったことによるものであります。

投資活動の結果、資金は406百万円の減少（前年同期は367百万円の増加）となりました。これは主として、事業分離による支出が404百万円あったことによるものであります。

財務活動の結果、資金は47百万円の減少（前年同期は442百万円の減少）となりました。これは主として、リース債務返済による支出が47百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想については、平成24年8月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、当社は、当社連結子会社であり自動車用溶接治具事業を営んでいた株式会社富士アセンブリシステムの当社所有の全株式を譲渡しました。

この結果、当社グループ（当社及び関係会社）は、当社（株式会社富士テクニカ宮津）、子会社2社及び関連会社4社により構成され、自動車用プレス金型事業を主たる業務としております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,091	4,369
受取手形及び売掛金	3,290	3,121
仕掛品	5,673	4,605
その他	408	119
貸倒引当金	△195	△64
流動資産合計	13,268	12,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,673	1,629
機械装置及び運搬具（純額）	398	307
土地	1,940	1,940
その他（純額）	159	122
有形固定資産合計	4,172	3,999
無形固定資産		
のれん	801	779
その他	230	241
無形固定資産合計	1,031	1,021
投資その他の資産		
投資有価証券	928	930
関係会社出資金	990	938
その他	122	343
貸倒引当金	—	△300
投資その他の資産合計	2,042	1,912
固定資産合計	7,246	6,933
資産合計	20,514	19,084
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,208	1,705
未払法人税等	12	9
前受金	2,961	1,774
工事損失引当金	476	443
事業構造改善引当金	368	287
賞与引当金	51	344
その他の引当金	18	—
その他	516	877
流動負債合計	6,615	5,442
固定負債		
長期借入金	8,199	8,199
退職給付引当金	1,641	1,611
繰延税金負債	104	115
その他	175	95
固定負債合計	10,120	10,021
負債合計	16,735	15,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,081	3,081
資本剰余金	13	13
利益剰余金	762	628
自己株式	△13	△13
株主資本合計	3,843	3,710
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△30	6
為替換算調整勘定	△89	△95
その他の包括利益累計額合計	△119	△88
新株予約権	54	—
純資産合計	3,778	3,621
負債純資産合計	20,514	19,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,212	7,717
売上原価	5,367	6,534
売上総利益	844	1,182
販売費及び一般管理費	667	456
営業利益	177	725
営業外収益		
持分法による投資利益	106	85
その他	74	81
営業外収益合計	180	166
営業外費用		
支払利息	92	88
為替差損	108	38
その他	22	19
営業外費用合計	222	147
経常利益	135	745
特別利益		
固定資産売却益	110	17
投資有価証券売却益	5	—
新株予約権戻入益	—	54
特別利益合計	116	72
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	1	0
事業分離における移転損失	—	935
特別損失合計	3	936
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	248	△119
法人税、住民税及び事業税	8	3
法人税等調整額	△2	10
法人税等合計	6	14
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	241	△133
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	241	△133

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	241	△133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	—
繰延ヘッジ損益	24	36
持分法適用会社に対する持分相当額	28	△6
その他の包括利益合計	49	30
四半期包括利益	291	△102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291	△102
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	248	△119
減価償却費	215	157
のれん償却額	21	21
持分法による投資損益(△は益)	△106	△85
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	△92
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△92	△32
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△84	△81
受取利息及び受取配当金	△4	△13
支払利息	92	88
有形固定資産売却損益(△は益)	△110	△17
事業分離における移転損失	—	935
売上債権の増減額(△は増加)	193	△331
たな卸資産の増減額(△は増加)	△955	901
未収消費税等の増減額(△は増加)	164	72
仕入債務の増減額(△は減少)	71	△368
未払費用の増減額(△は減少)	△590	478
前受金の増減額(△は減少)	1,427	△1,138
為替差損益(△は益)	8	—
その他	△46	111
小計	522	813
利息及び配当金の受取額	4	13
利息の支払額	△92	△88
法人税等の支払額	△11	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	423	732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78	△34
無形固定資産の取得による支出	△45	△101
有形固定資産の売却による収入	491	19
投資有価証券の売却による収入	11	—
貸付金の回収による収入	33	115
関係会社株式の取得による支出	△39	—
関係会社出資金の払込による支出	△29	—
事業分離による支出	—	△404
その他	22	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	367	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△401	—
リース債務の返済による支出	△40	△47
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442	△47
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	340	277
現金及び現金同等物の期首残高	4,214	4,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,555	4,369

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用 プレス金型 事業	自動車用 溶接治具 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,519	1,693	6,212	—	6,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,519	1,693	6,212	—	6,212
セグメント利益	115	36	151	26	177

(注) 1. セグメント利益の調整額26百万円には、セグメント間消去46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△20百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用 プレス金型 事業	自動車用 溶接治具 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,351	365	7,717	—	7,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,351	365	7,717	—	7,717
セグメント利益又は損失 (△)	731	△5	726	△0	725

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。